

- 問1 弥生時代の吉野ヶ里遺跡などに見られる、高い木材を組み上げ周囲に柵を張り巡らせた「物見やぐら」が作られた背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 高床倉庫に保管した穀物がネズミの被害に遭わないよう、高い場所で常に監視を行うため。 | 2. 稲作の普及により土地や水をめぐめる争いが増え、集落を守るための防御機能が必要になったため。 | 3. 大陸から伝わった仏教の儀式を行うため、天に近い高い場所で祈りを捧げる必要があったため。 | 4. 天皇を中心とした中央集権体制が確立し、地方の豪族がその権力を誇示するために建設したため。 |
|--|--|--|---|
- 問2 1世紀半ばの日本（倭）において、九州にあった奴国の王が中国の王朝に使者を送り、皇帝から金印を授けられたという記録が中国の歴史書に残されています。このとき、奴国の王に金印を授けた中国の王朝として正しいものを次の中から選びなさい。 (2026年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 秦 | 2. 漢 | 3. 隋 | 4. 魏 |
|------|------|------|------|
- 問3 弥生時代に大陸から稲作が伝来して定住生活が広まると、集落（ムラ）の間で大規模な争いが発生するようになりました。縄文時代の狩猟・採集中心の生活ではあまり見られなかったこのような対立が、弥生時代に激化した主な理由として適切なものはどれですか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--------------------------------------|
| 1. 獲物を追って移動する範囲を広げる中で、獲物の所有権をめぐって対立したため | 2. 気候の寒冷化によって木の実などの食料が激減し、採集場所を奪い合ったため | 3. 水田を耕作するための土地や、農業に欠かせない水の利権を確保しようとしたため | 4. 大陸から伝来した仏教の布教をめぐり、信仰の違いから衝突が起きたため |
|---|--|--|--------------------------------------|
- 問4 弥生時代に大陸から稲作とともに伝えられた金属器のうち、強度が非常に高く、主に武器や工具、木製農具の刃先などの実用的な道具として用いられたものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|--------|---------|
| 1. 打製石器 | 2. 鉄器 | 3. 青銅器 | 4. 磨製石器 |
|---------|-------|--------|---------|
- 問5 5世紀、倭の五王が中国の南朝である「宋」へたびたび使者を送った目的として、当時の東アジア情勢を踏まえた説明として最も適切なものはどれか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 朝鮮半島における軍事的な指揮権や外交的な立場を、中国の皇帝に公認してもらうため。 | 2. 邪馬台国内での争いを鎮めるために、中国の強力な軍隊を日本国内へ招き入れるため。 | 3. 福岡県の志賀島で発見された「漢委奴国王」の金印を、宋の皇帝に返還するため。 | 4. 遣隋使の派遣に先立ち、中国の進んだ律令制度や仏教を日本に導入する許可を得るため。 |
|---|--|--|---|
- 問6 1世紀半ば、日本の小国の一つであった奴国の王が、中国の王朝である後漢へ使者を送った時期の社会状況として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 狩猟や採集を生活の中心とし、ナウマンゾウなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていた。 | 2. 仏教による国家の安定を図るため、聖武天皇の命によって全国各地に国分寺や国分尼寺が建立された。 | 3. 巨大な前方後円墳が築造されるようになり、その周囲には死者を供養するための埴輪が並べられた。 | 4. 大陸から伝わった稲作や金属器の使用が広まり、食料の蓄えや土地をめぐめる集落間の争いが起こるようになった。 |
|--|---|--|---|
- 問7 1世紀半ば、倭の奴国の王が、危険を冒してまで当時の中国の王朝であった漢（後漢）に使節を送り、皇帝から金印を授かった政治的な背景・目的として最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 中国で発明されたばかりの青銅器や鉄器の製造技術を独占し、列島全体を武力で統一するため | 2. 中国の皇帝から王としての地位を認めてもらい、その権威を背景に周囲の小国に対して優位に立つため | 3. 中国で当時流行していた仏教を正式に日本へ導入し、宗教的な力によって国内の混乱を鎮めるため | 4. 中国で起きていた大規模な農民反乱を鎮圧するために、倭の軍勢力を提供して同盟関係を築くため |
|---|---|---|---|
- 問8 弥生時代に大陸から伝わった技術や文化が、当時の社会に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 狩猟や採集がより効率的になり、人々は移動を繰り返しながら竪穴住居に住んだ。 | 2. 青銅器が実用的な農具として普及したことで、開墾が進み全国的な統一国家が誕生した。 | 3. 巨大な前方後円墳を築くための高い土木技術が伝わり、各地に大規模な古墳が作られた。 | 4. 稲作の普及により食料の蓄えが可能になり、貧富の差や集団をまとめる王が現れた。 |
|--|---|---|---|
- 問9 邪馬台国の女王が中国の魏の皇帝に使者を送った際、皇帝から授けられたとされる称号と、その証として贈られた品物の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|------------------------------|---------------------|----------------------------|
| 1. 「倭王」の称号と、百濟から贈られた七支刀 | 2. 「日本国王」の称号と、明との貿易に用いられた勘合符 | 3. 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡 | 4. 「漢委奴国王」の称号と、志賀島で発見された金印 |
|-------------------------|------------------------------|---------------------|----------------------------|
- 問10 3世紀の倭国の女王である卑弥呼が、中国の王朝である魏に使いを送った目的として、当時の政治的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. 隋の皇帝に対して、対等な外交関係を築くことを求めるため | 2. 大陸の進んだ文化や制度を直接学び、仏教を日本に広めるため | 3. 魏の皇帝から倭国の王としての正当性を認められ、国内の統治を安定させるため | 4. 元との貿易を円滑に進めるために、港の整備や通貨の流通を依頼するため |
|--------------------------------|---------------------------------|---|--------------------------------------|
- 問11 1世紀頃の東アジアにおいて、中国の皇帝が周辺国の支配者に対して「みつぎ物」の見返りとして「称号」や「印」などを与える国際秩序がありました。倭の王が中国へ使いを送った歴史的背景や目的として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 仏教などの新しい宗教を中国から正式に導入し、国を治めるための思想として活用しようとした。 | 2. 中国と対等な立場で外交関係を築き、軍事的な同盟を結ぶことで領土を拡大しようとした。 | 3. 朝鮮半島北部の小国として、中国の強力な武力による直接支配から逃れるための許可を求めた。 | 4. 中国の皇帝に臣下として認められることで、自らの支配者としての地位を国内や周辺に示そうとした。 |
|---|--|--|---|
- 問12 弥生時代に中国や朝鮮半島から伝わった鉄の利用について、当時の社会に与えた影響を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|--|
| 1. 木製農具の刃先に装着することで土地を耕す効率が向上し、農業生産力が高まった。 | 2. 土偶の表面を細かく削り出すための彫刻用具として、全国で広く普及した。 | 3. 須恵器と呼ばれる硬い土器を焼くために、窯の温度を上げる燃料として利用された。 | 4. ナウマンゾウなどの大型の獣を捕らえるための、強力な打製石器の材料となった。 |
|---|---------------------------------------|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 稲作の普及により土地や水をめぐる争いが増え、集落を守るための防御機能が必要になったため。	弥生時代には稲作が本格化し、蓄えられた食料や、稲作に適した土地・水をめぐる集落間の争い（戦争）が発生するようになりました。吉野ヶ里遺跡で見られる深い堀（環濠）や、高い場所から敵の侵入をいち早く察知するための物見やぐらは、集落を外敵から守るための軍事的な役割を果たしていました。仏教の伝来や中央集権体制の確立は、のちの飛鳥時代以降の出来事です。
問2	答え 2 漢	中国の歴史書である『後漢書』東夷伝には、西暦57年に倭の奴国の王が使者を送り、光武帝から印綬（金印）を授かったことが記されています。この金印は、江戸時代に福岡県の志賀島で発見された「漢委奴国王」の文字が刻まれたものと一致すると考えられています。設問にある1世紀という時期は、中国では漢（後漢）の時代にあたります。
問3	答え 3 水田を耕作するための土地や、農業に欠かせない水の利権を確保しようとしたため	稲作が始まると、安定して米を生産するために、日当たりの良い土地や灌漑に必要な水の確保が死活問題となりました。これらをめぐって集落間で利害が対立したことが、組織的な武力衝突へと発展しました。また、収穫した米を蓄積できるようになったことで、貧富の差や権力の差が生じたことも争いの一因です。
問4	答え 2 鉄器	弥生時代には大陸から鉄器と青銅器という二種類の金属器が同時に伝わりました。青銅器が祭祀（祭り）や儀式のための道具として用いられたのに対し、鉄器は硬度が高く鋭い刃物を作ることができたため、戦いのための武器や、木材を加工する工具、開墾効率を高めるための農具の刃先として幅広く活用されました。
問5	答え 1 朝鮮半島における軍事的な指揮権や外交的な立場を、中国の皇帝に公認してもらうため。	5世紀の倭（ヤマト政権）は、国内の統一を進めるとともに、鉄資源の確保などを求めて朝鮮半島への進出を強めていました。倭の五王は、朝鮮半島における百濟や加耶（加羅）に対する軍事的な影響力や外交的な地位を中国の皇帝に認めてもらう（官爵を得る）ことで、他国や国内の諸勢力に対して自らの正当性を主張しようとした。
問6	答え 4 大陸から伝わった稲作や金属器の使用が広まり、食料の蓄えや土地をめぐる集落間の争いが起こるようになった。	紀元前後の弥生時代には、大陸から稲作技術や金属器（青銅器・鉄器）が伝来し、生産力が向上しました。これに伴い、余剰生産物の蓄えや水田に適した土地をめぐる集落同士の争いが発生し、各地に小国が形成されました。奴国の王が後漢の光武帝に使者を送り「漢委奴国王」の金印を授かったのは、こうした国内の勢力争いの中で中国の王朝を後ろ盾にしようとする意図があったと考えられています。
問7	答え 2 中国の皇帝から王としての地位を認められ、その権威を背景に周囲の小国に対して優位に立つため	当時の日本（倭）は100余りの小国に分かれて対立していました。奴国の王は、強大な力を持つ中国の王朝に使節を送り、皇帝に貢ぎ物を届けることで「王」としての承認（冊封）を受けました。授けられた金印は、中国皇帝の威光を背景に自らの支配の正当性を周囲に示すための重要な道具として機能しました。なお、仏教の伝来は6世紀、武力による統一の動きが加速するのは3世紀以降のことです。
問8	答え 4 稲作の普及により食料の蓄えが可能になり、貧富の差や集団をまとめる王が現れた。	稲作の開始は、単なる食生活の変化にとどまらず、社会構造に劇的な変化をもたらしました。収穫した米を蓄えることで余剰生産物が生まれ、それを管理・所有する層が現れたことで、貧富の差や身分の違い（階級）が生じました。その結果、小国を治める王のような強力な指導者が登場し、中国の歴史書にある「100余りの国」のような政治的なまとまりが形成される要因となりました。なお、青銅器は主に祭祀用であり、実用的な農具は鉄器が担いました。
問9	答え 3 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡	卑弥呼は魏の皇帝から「魏に親しい倭の王」を意味する「親魏倭王」の称号を授かりました。その際、権威を象徴する品として金印や100枚の銅鏡などが贈られ、これらを利用して国内の統治を有利に進めようとしたと考えられています。なお、「漢委奴国王」の金印は1世紀（後漢の時代）の出来事です。
問10	答え 3 魏の皇帝から倭国の王としての正当性を認められ、国内の統治を安定させるため	卑弥呼は国内の多くの国々を従えていましたが、その権威をより強固なものにするために、当時中国で強大な勢力を持っていた魏の力を利用しました。「親魏倭王」という称号を授かることで、外部の強力な後ろ盾があることを国内に示し、他の国々に対する優位性を確保しようとしたと考えられています。
問11	答え 4 中国の皇帝に臣下として認められることで、自らの支配者としての地位を国内や周辺に示そうとした。	当時の倭の王は、東アジアで圧倒的な権威を持っていた中国の皇帝に「朝貢」し、その臣下として認められる（冊封を受ける）ことで、自らの支配の正当性を強化しようとした。これは対等な外交ではなく、中国を中心とした主従関係に基づく国際秩序の中に組み込まれることを意味しています。
問12	答え 1 木製農具の刃先に装着することで土地を耕す効率が向上し、農業生産力が高まった。	弥生時代には、大陸から鉄器と青銅器がほぼ同時に伝来しました。鉄は硬くて鋭利な性質を持つため、木製農具の先に取り付けて土を掘り返しやすくしたり、木工具や武器として利用されたりしました。これにより、石器を使っていた時代に比べて稲作などの作業効率が劇的に改善されました。なお、青銅器は主に祭祀（お祭り）や儀式のための道具として使い分けられました。